

R3年度 機関員講習会（放水訓練）の要綱

時間	呼称	内容
8:45		技術部長からの指示は全て簡易無線を使用し行う。 【準備】 機材設置の確認、事前にポンプの始動・揚水の確認を一度行う。ポンプ内の水をすべて空の状態にしてエンジンは停止状態で待機する。
8:55	只今より放水訓練を開始する。水圧は0.3Mpa 放水始め。	【訓練開始/放水の開始】 エンジンを始動し、放水を開始する。 (水圧は0.3Kpa) 全ての隊の放水状態を確認後、0.3Mpaにて放水を継続 2分間
9:00	放水圧の変換を行う。 水圧を0.5Mpaに上げよ。	【水圧の変更】 水圧を0.5Mpaに変更、2分間程度放水を継続。
9:02	放水やめ。 エンジン停止。	【放水の停止】 【エンジンの停止】 1分間
9:04	放水を再開する。 水圧は0.3Mpaにて放水。 放水始め。	【放水の再開】 エンジンを再始動し、放水を開始する。 3分間
9:10	放水やめ。直ちに機材の撤収作業に移れ。	放水を停止し、機材の撤収作業を開始する。 全体の機材撤収完了の後、閉会式に移る。 撤収を完了した隊は車後に横隊にて待機。
9:15	これより閉会式を行う。 右向け右、前へ進め。	閉会式会場へ移動

※時間は概ねの時間であり、訓練の進捗状況により多少の前後はあるものとする。

- ・部隊指揮は佐藤技術部長とし、各隊の無線、指示担当は各分団長とする。
については実施の各分団長は簡易無線機を携行し、各隊の無線を担当する。
分団長不在の場合は、出席の幹部団員が補完する。
- ・各方面隊の技術担当は各方面隊の責任者とし、ポンプの取り扱いを監督、指示をする。
- ・ポンプ車の無線は車載されている無線機を使用する。※無線担当を1名専任すること。
※事前に使用の可否、取り扱いを確認しておくこと。
- ・八分団（大湯）、四分団（軽P）の無線は第2方面隊の無線所有の団員が行う。
- ・各隊の無線担当は機材の準備が完了したら、無線開局（CH01）し森山副本部長とメリット交換を行う。

【注意事項】

- ・路上駐車は厳禁。参加車両以外の車両は堀之内病院駐車場へ 厳守
- ・コロナ禍につき名簿を作成する。会場に到着したら、参加人員の確認の意味も含め、氏名、体調、朝の体温、連絡先を記入する。方面隊長が行うものとする。
- ・参加団員は必ず家を出る前に検温をすること。体調がすぐれない場合は参加しない。
- ・短時間の為、会場全体を禁煙とする。ゴミは持ち帰ること。
- ・消防車両が後退、駐車する際は助手席等に同乗する者が必ず車両誘導を行うこと。
(誘導員は車両の死角には入らないこと。運転員は誘導員を必ず目視で確認できること。)

団員の見学席

● 部隊指揮 佐藤技術部長

団員の見学席

閉・開会式会場(予定)

